

定期作況報告（最終）

（第7号 平成16年11月20日）
北海道立上川農業試験場

1. 気象概況

《平成15年》

11月：平年より最高気温は各旬とも各々1.8、2.6、1.2 高く、最低気温は各旬とも各々1.8、0.6、0.1 高かった。平年より降水量は上旬、中旬が各々12.8、24.1 少なく、下旬が12 多く、日照時間は上旬が1.6時間少なかったが、中旬、下旬が各々22時間、9.5時間多かった。

12月：平年より最高気温は上旬が0.1 低く、中旬、下旬が各々1.4、3.3 高く、最低気温は上旬、下旬が各々1.1、3.0 高く、中旬は1.1 低かった。平年より降水量は上旬が7.9mm多く、中旬、下旬が各々25.6、2 少なかった。日照時間は上旬、下旬が各々5.3時間、4.3時間少なかったが、中旬は、8.6時間多かった。

《平成16年》

1月：平年より最高気温は各旬とも各々1.0、1.5、1.2 高く、最低気温も各旬とも各々1.9、1.9、1.8 高かった。平年より降水量は各旬とも各々0.2mm、2.3mm、4.0 少なく、日照時間は各旬とも各々3.9時間、5.8時間、2.1時間多かった。

2月：平年より最高気温は各旬とも各々1.2、3.0、2.0 高く、最低気温も各旬とも各々1.5、2.9、3.6 高かった。平年より降水量は上旬、下旬が各々5.6、59.6 多く、中旬は14.3mm少なく、日照時間は上旬、下旬が各々12.3時間、25.7時間少なかったが、中旬が7.7時間多かった。

3月：平年より最高気温は上旬が0.8 低く、中旬、下旬が各々1.0、2.4 高く、最低気温は上旬が0.1 低く、中旬、下旬が各々1.9、0.7 高かった。平年より降水量は上旬、中旬とも各々6.3、5.5、多く、下旬は15.9mm少なく、日照時間は上旬、中旬が各々3.6時間、15.5時間少なく、下旬が18.5時間多かった。

4月：平年より最高気温は上旬、下旬が各々1.1、4.5 低く、中旬が1.3 高かった。最低気温は各旬とも各々0.5、0.5、2.5 低かった。平年より降水量は上旬が1.1mm多く、中旬、下旬が各々1.3、6.1 少なく、日照時間は上旬、下旬が各々12.8時間、18.3時間少なかったが、中旬が4.5時間多かった。

5月：平年より最高気温は各旬とも各々1.0、1.0、0.4 高く、最低気温も各旬とも各々0.9、2.6、1.2 高かった。平年より降水量は各旬とも各々6.6、22.3、34.1 多く、日照時間は各旬とも各々2.6時間、11.0時間、1.2時間少なかった。

6月：平年より最高気温は各旬とも各々2.7、2.4、2.8 高く、最低気温も各旬とも各々0.8、0.7、3.6 高かった。平年より降水量は上旬、中旬が各々18.6mm、11.0 少なく下旬は39.8 多く、日照時間は上旬が6.5時間多く、中旬、下旬が各々が0.2時間、16.9時間少なかった。

7月：平年より最高気温は上旬が1.3 低く、中旬、下旬が各々0.5、2.7 高く、最低気温は上旬が1.3 低く、中旬、下旬が各々0.4、1.3 高かった。平年より降水量は上旬が17.2 多く、中旬、下旬が各々29.6、43.8 少なく、日照時間は上旬が17.8時間少なく、中旬、下旬が各々3.5時間、16.7時間多かった。

8月：平年より最高気温は上旬が4.5 高く、中旬、下旬が各々1.9 、2.4 低く、最低気温は上旬が4.4 、中旬、下旬が各々1.3 、3.9 低かった。平年より降水量は上旬、下旬が44.0 、23.5mm少なく、中旬、が5.6 多く、日照時間は上旬、中旬が各々2.4時間、15.6時間少なく、下旬が25.4時間多かった。

9月：平年より最高気温は各旬とも各々0.8 、1.5 、0.7 高く、最低気温は上旬、中旬が各々0.3 、1.4 低く、下旬が1.0 高かった。平年より降水量は上旬、下旬が各々34.4mm、7.8mm少なく、中旬が6.7mm多く、日照時間は上旬、下旬が各々1.1時間、11.5時間少なく、中旬が10.9時間多かった。

10月：平年より最高気温は上旬、中旬が各々2.8 、2.1 高く、下旬が2.2 低く、最低気温は上旬は平年並、中旬が0.2 高く、下旬が1.0 低かった。平年より降水量は上旬、中旬が各々42.2 、16.1mm少なく、下旬が5.3 多く、日照時間は上旬、中旬が各々12.4時間、16.3時間多く、下旬が9.1時間少なかった。

根雪終は4月9日で、平年より3日早く、積雪期間が平年より14日短かった。耕鋤始は4月15日で平年より8日早かった。晩霜は5月2日で、平年より13日早かった（表1）。

平成15年11月から平成16年10月までの気象は表2の通りである。

表1 季節

	初霜 (前年)	降雪始 (前年)	根雪始 (前年)	根雪終 (月日)	積雪期間 (日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)	晩霜 (月日)
本年	10.8	11.7	12.4	4.9	127	4.25	4.15	5.2
平年	10.12	10.21	11.23	4.12	141	4.24	4.23	5.15
比較	4	17	11	3	14	1	8	13

注1) 本年は平15～16年の値。

2) 根雪始、根雪終、積雪期間、耕鋤始は比布圃場の観測値。平年は過去10か年のの平均値。

3) 初霜、降雪始、降雪終、晩霜は旭川市の観測値。平年は過去10か年の平均値。

4) 印は平年に比べて早いおよび短いを示す。

表2 平成16年度気象表

(上川農試)

年 月 旬	最高気温()			最低気温()			平均気温()			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平成15 上	9.4	7.6	1.8	1.8	0.0	1.8	5.3	3.7	1.6	26.5	39.3	12.8	7.0	6.6	0.4	18.2	19.8	1.6
11 中	6.8	4.2	2.6	-1.6	-2.2	0.6	2.5	1.1	1.4	14.5	38.6	24.1	2.0	6.7	4.7	36.5	14.5	22.0
下	3.8	2.6	1.2	-3.6	-3.7	0.1	-0.2	-0.6	0.4	52.5	40.5	12.0	6.0	6.9	0.9	28.0	18.5	9.5
上	-1.2	-1.1	0.1	-6.3	-7.4	1.1	-3.7	-4.0	0.3	35.5	27.6	7.9	8.0	7.5	0.5	12.6	17.9	5.3
12 中	-2.0	-3.4	1.4	-10.9	-9.8	1.1	-5.9	-6.3	0.4	6.0	31.6	25.6	1.0	8.1	7.1	22.1	13.5	8.6
下	-0.2	-3.5	3.3	-7.7	-10.7	3.0	-3.6	-6.8	3.2	25.5	27.5	2.0	9.0	7.9	1.1	13.7	18.0	4.3
平成16 上	-3.4	-4.4	1.0	-10.7	-12.6	1.9	-6.8	-8.1	1.3	22.5	22.7	0.2	6.0	7.0	1.0	22.3	18.4	3.9
1 中	-4.0	-5.5	1.5	-12.4	-14.3	1.9	-7.9	-9.4	1.5	14.5	16.8	2.3	5.0	6.3	1.3	29.2	23.4	5.8
下	-4.2	-5.4	1.2	-12.7	-14.5	1.8	-8.0	-9.4	1.4	18.0	22.0	4.0	5.0	6.7	1.7	32.4	30.3	2.1
上	-3.4	-4.6	1.2	-12.5	-14.0	1.5	-7.3	-8.8	1.5	20.0	14.4	5.6	6.0	5.6	0.4	24.3	36.6	12.3
2 中	-0.5	-3.5	3.0	-10.2	-13.1	2.9	-4.8	-7.8	3.0	2.5	16.8	14.3	1.0	6.3	5.3	43.9	36.2	7.7
下	0.4	-1.6	2.0	-8.5	-12.1	3.6	-3.6	-6.7	3.1	66.5	6.9	59.6	9.0	2.5	6.5	15.0	40.7	25.7
上	-2.0	-1.2	0.8	-11.8	-11.7	0.1	-6.4	-6.0	0.4	24.5	18.2	6.3	7.0	5.3	1.7	42.9	46.5	3.6
3 中	2.4	1.4	1.0	-6.2	-8.1	1.9	-2.0	-3.0	1.0	22.5	17.0	5.5	8.0	5.5	2.5	29.5	45.0	15.5
下	5.7	3.3	2.4	-4.8	-5.5	0.7	0.7	-0.9	1.6	3.5	19.4	15.9	2.0	4.8	2.8	67.3	48.8	18.5
上	5.7	6.8	1.1	-3.5	-3.0	0.5	1.3	2.0	0.7	16.0	14.9	1.1	8.0	3.8	4.2	42.9	55.7	12.8
4 中	11.1	9.8	1.3	-0.7	-0.2	0.5	5.1	4.7	0.4	20.0	21.3	1.3	4.0	3.7	0.3	53.9	49.4	4.5
下	9.5	14.0	4.5	-0.7	1.8	2.5	4.7	7.8	3.1	10.0	16.1	6.1	3.0	3.0	0.0	33.5	51.8	18.3
上	16.2	15.2	1.0	4.0	3.1	0.9	9.9	9.1	0.8	40.5	33.9	6.6	5.0	4.0	1.0	52.6	55.2	2.6
5 中	18.8	17.8	1.0	8.4	5.8	2.6	14.0	11.7	2.3	42.5	20.2	22.3	6.0	3.0	3.0	42.6	53.6	11.0
下	20.8	20.4	0.4	9.8	8.6	1.2	15.1	14.3	0.8	61.5	27.4	34.1	5.0	3.8	1.2	53.9	55.1	1.2
上	22.7	20.0	2.7	9.6	8.8	0.8	16.1	14.2	1.9	9.5	28.1	18.6	2.0	4.0	2.0	62.6	56.1	6.5
6 中	24.6	22.2	2.4	11.9	11.2	0.7	17.9	16.4	1.5	4.5	15.5	11.0	2.0	2.5	0.5	52.3	52.5	0.2
下	26.1	23.3	2.8	15.9	12.3	3.6	20.6	17.5	3.1	60.0	20.2	39.8	5.0	2.5	2.5	35.9	52.8	16.9
上	22.5	23.8	1.3	13.1	14.4	1.3	17.7	18.8	1.1	56.0	38.8	17.2	6.0	4.1	1.9	18.2	36.0	17.8
7 中	26.0	25.5	0.5	16.0	15.6	0.4	20.5	20.2	0.3	19.5	49.1	29.6	4.0	4.9	0.9	49.6	46.1	3.5
下	29.4	26.7	2.7	18.7	17.4	1.3	24.1	21.6	2.5	24.5	68.3	43.8	2.0	5.5	3.5	62.3	45.6	16.7
上	30.3	25.8	4.5	21.3	16.9	4.4	25.4	21.1	4.3	2.5	46.5	44.0	1.0	4.8	3.8	41.0	43.4	2.4
8 中	23.5	25.4	1.9	14.7	16.0	1.3	18.6	20.3	1.7	43.0	37.4	5.6	5.0	4.0	1.0	32.4	48.0	15.6
下	22.5	24.9	2.4	11.3	15.2	3.9	16.9	19.6	2.7	30.5	54.0	23.5	3.0	4.3	1.3	74.1	48.7	25.4
上	24.1	23.3	0.8	12.8	13.1	0.3	18.0	17.9	0.1	22.5	56.9	34.4	6.0	4.7	1.3	52.0	53.1	1.1
9 中	22.0	20.5	1.5	9.4	10.8	1.4	15.4	15.3	0.1	63.0	56.3	6.7	3.0	5.5	2.5	52.9	42.0	10.9
下	19.8	19.1	0.7	9.3	8.3	1.0	14.5	13.3	1.2	40.5	48.3	7.8	4.0	5.6	1.6	38.4	49.9	11.5
上	18.7	15.9	2.8	6.2	6.2	0.0	12.0	10.7	1.3	4.0	46.2	42.2	1.0	5.7	4.7	49.4	37.0	12.4
10 中	16.3	14.2	2.1	4.2	4.0	0.2	10.0	8.9	1.1	16.5	32.6	16.1	5.0	5.8	0.8	54.3	38.0	16.3
下	9.9	12.1	2.2	1.6	2.6	1.0	5.4	7.0	1.6	43.5	38.2	5.3	8.0	5.0	3.0	27.5	36.6	9.1

1)比布アメダス観測値。

2)平年は比布アメダス前10カ年の平均値。

3)印は平年に比べて減を示す。

(1) 水 稲：不 良

事 由：出芽器使用による出芽の揃いは概ね良好であった。移植時の苗素質は主稈葉数が中苗、成苗とも平年並であったものの、草丈は中苗でやや徒長気味、地上部乾物重は中苗、成苗とも平年対比でかなり劣った。

移植後は降水量が多かったものの平均気温は高く推移したため、活着は良好であった。その後は好天が続いたため生育は良好であった。6月中旬の時点では、主稈葉数、草丈は平年並であったが、 当たり茎数が平年を大きく上回った。

幼穂形成期は平年より5～6日早く、止葉期は平年より3日早かった。7月中旬の時点では、平年に比べ主稈葉数は並からやや少なく、 当たり茎数はやや少なく、草丈はやや長かった。

止葉期以降の生育は好天に恵まれ順調で、出穂期は平年より3日早かった。穂揃いは良好で穂揃い日数は平年に比べ1～2日短かった。最終止葉葉数は平年並かやや少なかった。稈長は4～6cm程度短かった。穂長は成苗「きらら397」が平年よりやや長かったものの、中苗の「ほしのゆめ」「きらら397」はやや短かった。最高分けつ期における茎数は平年よりやや少なかったものの、有効茎歩合が高かったため 当たり穂数は平年並となった。

成熟期は平年に比べ9日早かった。登熟日数は平年より6日少なかった。

[籾数]： 当たり穂数は中苗「きらら397」が平年よりやや少なかったが、そのほかは平年並であった。一穂籾数は成熟期後の台風により籾が脱粒したことも影響し、平年対比87～93%でかなり少なかった。その結果、 当たり籾数（ 当たり穂数×一穂籾数）は30,000粒前後となり、平年対比88～93%であった。

[稔実歩合・稔実籾数]：稔実歩合は成苗「きらら397」が平年よりわずかに低かったものの、そのほかは平年並であった。 当たり稔実籾数（ 当たり籾数×稔実歩合）は平年対比86～92%でかなり少なかった。

[登熟歩合・ 当たり登熟籾数]：登熟歩合は中苗・成苗ともに平年をかなり上回った。 当たり登熟籾数（ 当たり籾数×登熟歩合）は成苗は平年を下回り、中苗は平年並から平年をやや上回った。

[精玄米千粒重]：平年より0.3～0.8g軽かった。

[精玄米重]：粒厚1.90 以上の収量は「ほしのゆめ」中苗が平年対比91%で、「きらら397」の中苗および成苗は平年対比それぞれ90%、88%であった。

[検査等級]中苗、成苗とも1等でほぼ平年並みであった。

以上、いずれの品種・苗も収量が平年をかなり下回り、品種・苗をこみにした収量の平年対比は90%であった。このため、本年の作況は不良である。

表3 平成16年度 水稻の生育および収量

		品種・苗	きらら397・中苗		ほしのゆめ・中苗		きらら397・成苗		
		年次	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
生育期	播種期	(月・日)	4.16	4.17	4.16	4.17	4.14	4.13	
	移植期	(月・日)	5.19	5.20	5.19	5.20	5.19	5.20	
	幼穂形成期	(月・日)	6.27	7.02	6.25	7.01	6.24	6.29	
	止葉期	(月・日)	7.15	7.18	7.14	7.17	7.12	7.15	
	出穂期	(月・日)	7.25	7.28	7.24	7.27	7.22	7.25	
	穂揃日数	(日)	4	6	5	6	5	7	
	成熟期	(月・日)	9.06	9.15	9.05	9.14	9.05	9.14	
	登熟日数	(日)	43	49	43	49	45	51	
苗生育	生育日数	(日)	143	151	142	150	144	154	
	草丈	()	11.2	9.5	11.5	10.4	10.3	10.8	
	葉数	(枚)	3.1	3.2	2.9	3.2	4.0	4.0	
	地上部乾物重	(g/100本)	1.99	2.18	1.96	2.22	2.99	4.25	
本田生育	主稈葉数	6月10日	(枚)	6.3	6.1	5.9	5.5	7.0	6.5
		6月20日	(枚)	8.2	7.7	7.6	7.2	8.6	7.9
		6月30日	(枚)	9.3	9.3	8.8	8.9	9.7	9.5
		7月10日	(枚)	10.4	10.4	9.7	9.9	10.8	10.5
		7月20日	(枚)	11.0	11.4	10.0	10.6	11.0	11.0
		7月30日	(枚)	11.0	11.4	10.0	10.7	11.0	11.0
	当り茎数	止葉葉数	(枚)	11.0	11.4	10.0	10.7	11.0	11.1
		6月10日	(本)	290	204	265	204	352	253
		6月20日	(本)	557	469	562	440	765	539
		6月30日	(本)	828	927	876	872	860	937
7月10日		(本)	816	1019	855	996	866	982	
7月20日		(本)	806	930	878	928	771	883	
草丈	7月30日	(本)	752	802	818	809	792	783	
	6月10日	()	24.1	20.7	25.1	22.1	25.8	22.7	
	6月20日	()	30.3	25.8	31.1	27.4	32.7	28.4	
	6月30日	()	44.7	37.9	46.6	39.4	46.6	40.0	
	7月10日	()	54.8	54.0	59.6	56.4	58.3	54.6	
	7月20日	()	68.0	65.8	73.7	70.3	74.4	68.7	
本田生育	7月30日	()	76.4	82.6	82.5	87.8	78.7	82.5	
	稈長	()	61.7	67.7	66.2	72.4	62.2	66.5	
	穂長	()	16.1	16.7	15.6	16.4	17.2	16.5	
	穂数	(本 /)	687	708	765	766	734	730	
収量構成要素	有効茎歩合	(%)	83.0	69.5	87.1	76.9	84.8	74.3	
	一穂初数	(粒)	42.7	47.0	41.4	44.4	40.5	46.4	
	当初数	(×1000粒)	29.3	33.3	31.7	34.0	29.7	33.9	
	稔実歩合	(%)	91.6	91.9	90.4	91.4	89.4	91.6	
	当稔実初数	(×1000粒)	26.9	30.6	28.6	31.1	26.6	31.0	
	登熟歩合	(%)	86.4	76.4	86.8	78.2	84.1	78.5	
	当登熟初数	(×1000粒)	94.3	83.2	96.0	85.5	94.1	85.7	
	精玄米千粒重	(g)	22.2	22.5	21.3	22.1	22.1	22.8	
	初摺歩合	(%)	80.5	78.2	79.8	76.9	80.2	78.6	
収量	屑米歩合	(%)	3.3	4.6	3.9	7.0	3.3	6.1	
	藁重	(kg/10a)	611	631	664	670	624	603	
	精初重	(kg/10a)	660	764	640	742	659	776	
	初藁比	(%)	108	121	96	111	106	129	
	精玄米重	(kg/10a)	531	592	511	563	528	602	
	収量比	(%)	90	100	91	100	88	100	
	検査等級		1中	1中下	1下	1中下	1中下		

注1)平年値:平成9、11、12、13、14年の5か年の平均。

2)千粒重 精玄米重:粒厚190mm以上。水分15.0%に換算。

(2) 秋まき小麦 : やや良

事由：播種期は平年より6日早く、越冬前の葉数、草丈、茎数は平年を上回った。積雪期間が平年より14日短く、雪腐褐色小粒菌核病は平年より発生が少なかったが、紅色雪腐病が散見され、全ての菌種を含めた雪腐病発病度は平年並みであった。起生期後、4月下旬は低温に経過したが、その他の期間が概ね高温に経過したため生育は旺盛であったが、6月30日に40mmを越す降雨があり倒伏が多発した。出穂期は平年より1日遅く、成熟期は3日遅かった。最終的な稈長、穂長及び穂数は平年を大きく上回った。倒伏の影響で両品種ともリットル重、千粒重が平年より軽かったが、子実重は「タイセツコムギ」で平年比111%、「ホクシン」で121%と多収であった。子実の肥大が不十分であったため、検査等級は「タイセツコムギ」が規格外であり、「ホクシン」は平年よりやや劣る2中であった。

したがって、本年の作況はやや良である。

表4 上川農試における秋まき小麦作況調査成績

品 種 名		タイセツコムギ			ホ ク シ ン		
項 目	年 次	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
播種期	(月日)	9.5	9.11	6	9.5	9.11	6
出穂期	(月日)	6.12	6.11	1	6.7	6.6	1
成熟期	(月日)	7.23	7.20	3	7.18	7.15	3
越冬茎歩合	(%)	113.8	88.1	25.7	95.1	97.7	2.6
雪腐病発病度		41.4	45.6	4.2	29.2	30.3	1.1
葉数(枚)	H15.10.20	6.1	5.0	1.1	6.0	5.3	0.7
草 丈 (cm)	H15.10.20	29.9	25.0	4.9	28.8	24.0	4.8
	H16.5.20	48.3	43.4	4.9	47.6	42.3	5.3
	H16.6.20	97.0	90.0	7.0	102.1	89.4	12.7
茎 数 (本/)	H15.10.20	1759	1232	527	1698	1312	386
	H16.5.20	1298	945	353	1289	1028	261
	H16.6.20	713	614	99	753	653	100
成 熟 期	稈 長 (cm)	90	82	8	91	80	11
	穂 長 (cm)	9.2	8.8	0.4	8.9	8.4	0.5
	穂 数(本/)	625	527	98	676	593	83
総 重	(kg/10a)	1582	1301	281	1758	1365	393
子実重	(kg/10a)	608	548	60	677	558	119
同上	平年比 (%)	111	100	11	121	100	21
リットル重	(g)	743	774	31	762	781	19
千粒重	(g)	35.2	40.1	4.9	34.1	38.2	4.1
検査等級	(等)	規格外	2中	-	2中	2上	-

注1) 平年値は、前7か年中、平成9年、14年を除く5か年の平均値。

2) は平年より早を、 は平年より減を示す。

(3) とうもろこし : 平年並

事由：播種期は5月10日で平年並であった。その後の気温が高かったため、出芽期は平年より2～3日早かった。出芽後の気温も高めに経過し、降水量も十分あったため、初期生育は良好であった。

その後も高温傾向に経過したため生育は進み、抽雄期は平年より4日、絹糸抽出期は平年より3～6日早かった。しかし8月上旬に干ばつの影響を受けたため、稈長および着雌穂高はともに平年並みかやや高い程度となった。登熟は順調に進んでいたが、9月8日の台風18号による強風でほとんどの個体が倒伏し、本葉の多くを損失した。

収穫は平年より12日早い9月10日に行った。収穫時の熟度はほぼ平年並であった。不稔個体割合は、平年より少なかった。乾総重は、平年をやや下回った。乾雌穂重は「キタユタカ」は平年を下回ったが、「P3732」は平年を上回った。総体の乾物率は、平年よりやや高かった。この結果、TDN収量の平年対比は「キタユタカ」98%、「P3732」100%で、2品種平均では99%となった。

したがって、本年の作況は平年並である。

表5 とうもろこしの生育および収量

品 種 名		キ タ ユ タ カ			P 3 7 3 2		
項 目	年 次	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
播種期	(月日)	5.10	5.10	0	5.10	5.10	0
出芽期	(月日)	5.25	5.27	2	5.24	5.27	3
抽雄期	(月日)	7.20	7.24	4	7.26	7.30	4
抽糸期	(月日)	7.26	7.29	3	7.31	8.6	6
収穫期	(月日)	9.10	9.22	12	9.10	9.22	12
草丈 (cm)	6月20日	56	48	8	47	41	6
	7月20日	256	231	25	238	210	28
	8月20日	281	283	2	323	314	9
出葉数 (枚)	6月20日	9.4	8.3	1.1	8.7	7.7	1.0
	7月20日	17.2	16.9	0.3	17.6	17.0	0.6
	8月20日	17.5	17.7	0.2	18.6	18.9	0.3
収 稈 長 (cm)		251	248	3	282	273	9
穫 着雌穂高 (cm)		108	109	1	142	134	8
期 熟 度		黄初中	黄中	-	黄初	黄初	-
不稔個体割合 (%)		5.0	11.7	6.7	0.0	16.3	16.3
乾総重 (kg/10a)		1772	1782	10	1880	1930	50
乾雌穂重 (kg/10a)		722	811	89	846	741	105
総体の乾物率 (%)		30.5	27.6	2.9	29.4	26.9	2.5
TDN収量(kg/10a)		1225	1255	30	1321	1322	1
同上平年比 (%)		98	100	2	100	100	0

注1) 平年値は、前7か年中、平成12年、13年を除く5か年の平均値。

2) 平成10年度より栽植本数を7576本/10aに変更した。

3) は平年より早を示す。 は平年より減を示す。

(4)大豆： 平年並

事由： 播種は平年より1日遅い、5月20日に行った。5月下旬は、平均気温が高く降雨もあったため、出芽は平年より2日早まった。出芽後も高温傾向は続いたため生育は進み、7月上旬に低温となったものの、開花期は平年より4日早くなった。開花後、7月下旬以降8月中旬まで気温は高く、着莢は順調であり、莢の登熟は進んだ。その後、9月8日の台風による強風の影響で、黄葉期前であった「トヨムスメ」は葉のほぼすべてに損傷を受け、黄葉期であった「トヨコマチ」は完全に落葉した。このため、成熟期は「トヨムスメ」で平年より11日、「トヨコマチ」で9日早まった。高温の影響で栄養生長期間が短くなり、主茎長、主茎節数、分枝数は平年を下回った。「トヨムスメ」は、着莢数が平年より多く、百粒重は平年を下回ったものの、子実重は平年比107%となった。「トヨコマチ」は、着莢数、百粒重共に平年を下回り、子実重は平年比94%であった。両品種共に、屑豆率は平年よりも低かった。「トヨムスメ」では、種子に青みが残り、扁平粒や皮切れも多かったが、検査等級は平年並みであった。「トヨコマチ」では、種子に青みがあったものの、検査等級は平年を上回った。

したがって、本年の作況は「平年並」である。

表6 大豆の生育および収量

品 種 名		ト ヨ ム ス メ			ト ヨ コ マ チ		
項 目	年 次	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
播種期	(月日)	5.20	5.19	1	5.20	5.19	1
出芽期	(月日)	5.31	6.2	2	5.31	6.2	2
開花期	(月日)	7.10	7.14	4	7.9	7.13	4
成熟期	(月日)	9.21	10.2	11	9.15	9.24	9
主茎長 (cm)	6月20日	12.9	10.5	2.4	15.9	12.1	3.8
	7月20日	57	54	3	61	30	1
	8月20日	59	62	3	61	65	4
	9月20日	59	63	4	62	65	3
	成熟期	59	63	4	62	65	3
主茎 節数 (節)	6月20日	4.0	3.6	0.4	4.5	4.0	0.5
	7月20日	10.0	10.0	0.0	10.9	10.9	0.0
	8月20日	9.8	10.3	0.7	10.8	11.0	0.2
	9月20日	9.9	10.4	0.5	10.6	11.1	0.5
	成熟期	9.9	10.4	0.5	10.6	11.1	0.5
分枝数 (本 /株)	7月20日	7.1	6.9	0.2	6.2	6.9	0.7
	8月20日	7.0	7.7	0.7	5.8	7.0	1.2
	9月20日	5.9	7.4	1.5	5.4	6.7	1.3
	成熟期	5.9	7.4	1.5	5.4	6.7	1.3
着莢数 (個)	8月20日	85	86	1	76	76	0
	9月20日	84	76	8	70	77	7
	成熟期	84	76	8	70	77	7
子実重	(kg/10a)	461	434	27	396	422	26
同上	平年比 (%)	107	100	7	94	100	6
百粒重	(g)	34.8	38.1	3.3	34.8	35.5	0.7
屑豆率	(%)	0.6	2.1	0.5	0.5	2.1	0.6
検査等級	(等)	3下	3下	-	2下	3下	-

注1) 平年値は、前7か年中、平成9年(最豊)及び平成14年(最凶)を除く5カ年の平均値。

2) は平年より早を示す。 は平年より減を示す。

(5) 小豆 : 不良

事由：播種期は5月20日で平年より1日早かった。その後の気温が高めに推移し、十分な降雨もあったため、出芽期は平年より5日早まった。出芽後の気温も全般に高かったため生育は進み、開花期は平年より5日～6日早まった。7月下旬以降も気温は高めで、特に8月上旬には最高気温30度以上の日が続いたため、高温障害と考えられる着莢の停滞が観察された。加えて、8月第3半旬までほとんど降雨がなかったため、土壌は干ばつ傾向となり、8月第2半旬頃から下葉の黄化が始まった。このため、8月中旬以降に低温傾向となったものの、成熟期は平年より15～16日早まった。

主茎長は両品種とも平年より若干長く、分枝数は平年をやや下回り、着莢数は平年を下回った。登熟期間が短かったため、百粒重は両品種とも平年より軽かった。また、一莢内粒数については累年調査を行っていないため平年値がないものの、一般的な値を大きく下回った。このため、子実重は平年比57%～67%と極めて低収となった。屑豆率は両品種とも平年より低かったが、子実の色むらが大きく、検査等級は平年を下回った。

したがって、本年の作況は「不良」である。

表7 小豆の生育および収量

品 種 名		サホロショウズ			エリモショウズ		
項 目	年 次	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
播種期	(月日)	5.20	5.21	1	5.20	5.21	1
出芽期	(月日)	6.3	6.8	5	6.3	6.8	5
開花期	(月日)	7.16	7.21	5	7.18	7.23	5
成熟期	(月日)	8.19	9.4	16	8.25	9.9	15
主茎長 (cm)	6月20日	5.2	3.9	1.3	6.1	4.4	1.7
	7月20日	33	25	8	31	25	6
	8月20日	61	60	1	60	58	2
	成熟期	61	59	2	61	59	2
本葉数 (枚)	6月20日	1.2	0.8	0.4	1.2	0.7	0.5
	7月20日	8.6	7.1	1.5	9.1	7.5	1.6
	8月20日	11.5	11.0	0.5	12.4	11.9	0.5
分枝数 (本/株)	7月20日	5.5	5.3	0.2	5.2	5.2	0.0
	8月20日	5.2	6.0	0.8	5.1	6.1	1.0
	成熟期	5.1	5.4	0.3	5.3	5.4	0.1
着莢数 (個)	成熟期	54	59	3	52	58	6
一莢内粒数 (粒)	成熟期	4.76	(5.22) ³⁾	-	3.89	(5.99) ³⁾	-
子実重 (kg/10a)		249	373	124	216	379	163
同上平年比 (%)		67	100	33	57	100	43
百粒重 (g)		12.5	14.3	1.8	11.9	13.0	1.1
屑豆率 (%)		0.7	3.0	2.3	0.7	1.9	1.2
検査等級 (等)		3中	2中	-	3中	2下	-

注1) 平年値は、前8か年中、平成14年(最豊)、平成11年(最凶)、平成12年(参考)を除く5か年の平均値。

2) は平年より早を示す。 は平年より減を示す。

3) 一莢内粒数については累年調査を実施していないため平年値はない。参考として十勝農試の平年値を示した。

(6) ばれいしょ 作 況 : 良

事由: 植付けは5月7日で平年より1日早く、萌芽期は平年並であった。その後、気温は高めに経過し、降水量も十分あったため生育は順調で、開花始は平年より3日早かった。

気温は7月上旬はやや低めに経過したが、6月下旬は高温、7月中旬は平年並みに経過し、降水量も十分であったため、その後の生育も順調で、茎長は平年値を上回った。「男爵いも」では、7月下旬から倒伏が始まり、ほとんどの株が倒伏した。

「農林1号」の枯凋期は平年に比べ9日早かった。上いもならびに中以上いも収量は平年対比106%、105%であった。でん粉価は平年に比べ1.4%高く、でん粉収量は平年より142kg多く、平年対比117%と多収であった。

「男爵いも」の枯凋期は平年に比べ4日早かった。上いも収量は平年より1091kg多く、また、中以上いも収量も平年より943kg多く、共に平年対比123%と多収であった。でん粉価も平年より0.4%高かった。

したがって、本年の作況は「良」である。

表8 ばれいしょの生育および収量

品 種 名		農 林 1 号			男 爵 薯		
項 目	年 次	本 年	平 年	比 較	本 年	平 年	比 較
植付期	(月日)	5. 7	5. 8	1	5. 7	5. 8	1
萌芽期	(月日)	5.25	5.25	0	5.25	5.25	0
開花始	(月日)	6.20	6.23	3	6.20	6.23	3
枯凋期	(月日)	9.14	9.23	9	8.25	8.29	4
茎 長 (cm)	6月20日	46.7	34.2	12.5	42.4	32.7	9.7
	7月20日	78.0	67.3	10.7	53.8	40.4	13.4
	8月20日	82.0	79.5	2.5	-	-	-
上いも収量(kg/10a)		6094	5765	329	5907	4816	1091
中以上いも収量(kg/10a)		5480	5211	269	5040	4097	943
でん粉価(%)		17.0	15.6	1.4	14.5	14.1	0.4
でん粉収量(kg/10a)		975	833	142	797	604	193
対平年比	上いも収量	106	100	6	123	100	23
	中以上いも収量	105	100	5	123	100	23
	でん粉収量	117	100	17	132	100	32

注1) 平年値は前6か年の平均値

2) は平年より早を示す。

(お詫びと訂正)

9月定期作況報告のでんぷん重について、本年値および平年値に誤りがありました。お詫び致しますとともに、上記のとおり訂正いたします。

(7)てんさい : 良

事由：播種期は平年より1日早い3月26日であった。発芽期が平年より1日早く、発芽揃いは良好であった。移植は平年より2日遅い5月7日に行った。移植後に適度な降雨に恵まれ、気温も高めに経過したことから活着は良好であり、一時期干ばつによる生育停滞が認められたが、初期生育は概ね順調であった。7月中旬～8月上旬が高温少雨に経過したため、干ばつによる下位葉の黄化、萎凋が8月中旬から認められ、さらに9月8日の台風の強風のため、葉の先端部の枯凋が認められた。この結果、9月20日の時点での生葉数及び草丈は平年を下回ったが、根周は平年をやや上回った。収穫は平年より2日早い10月15日に行った。最終的な生葉重は平年よりかなり軽かったが、根重は平年並みであり、根中糖分が高かったため、糖量は平年を14%上回った。

したがって、本年の作況は良である。

表9 てんさいの生育および収量

品 種 名		モ ノ ホ マ レ		
項 目	年 次	本 年	平 年	比 較
播種期	(月日)	3.26	3.27	1
発芽期	(月日)	4.3	4.4	1
移植期	(月日)	5.7	5.5	2
収穫期	(月日)	10.15	10.17	2
草 丈 (cm)	5月20日	7.1	6.2	0.9
	6月20日	36.3	35.4	0.9
	7月20日	58.3	58.2	0.1
	8月20日	59.7	60.4	0.7
	9月20日	58.3	59.8	1.5
生葉数 (枚/株)	5月20日	5.6	4.7	0.9
	6月20日	14.6	13.1	1.5
	7月20日	26.2	24.2	2.0
	8月20日	27.2	29.1	1.9
	9月20日	30.5	32.7	2.2
根 周 (cm)	7月20日	25.4	23.5	1.9
	8月20日	30.6	29.1	1.5
	9月20日	34.7	33.5	1.2
茎葉重 (kg/10a)		3429	5239	1810
根重 (kg/10a)		7941	7763	178
根中糖分 (%)		18.56	16.78	1.78
糖量 (kg/10a)		1474	1293	181
対平年比	根重	102	100	2
	根中糖分	111	100	11
	糖量	114	100	14

注1) 平年値は前7か年中、平成11年、15年を除く5か年の平均値。

2) は平年より早を示す。 は平年より減を示す。